



## 学校教育目標

## 学びに向かう力の育成

### めざす子どもの姿

- ・ 目標を持って挑戦する子
- ・ 主体的に学び、学びを生かす子
- ・ 人とのかかわりを大切にし、豊かにつながる子

### 研修主題

### 一人ひとりの深い学びにつながる授業デザイン

子どもを育む取り組みの重点

#### 1. 確かな学力の定着

- ①基礎基本の定着  
(わかりやすく楽しい授業・子どもたちのやってみたいを引き出す授業)
- ②対話的・協働的に学びあい、一人一人の深い学びにつながる授業
- ③表現力を高める場の設定
- ④ICTを活用した個別最適な学びと情報活用能力の育成

#### 2. こころとからだの健全な育成

- ①人権・同和教育の充実となかまづくりの推進
- ②豊かな心をはぐくみ、自尊感情を高める取り組み
- ③自分を体を大切にする健康づくり・食育
- ④運動好きの子どもの育成、体力・運動能力の向上

#### 3. 未来を創造する力の育成

- ①集団活動を通して、力を合わせてやり遂げる活動
- ②社会で活躍する姿を意識したキャリア教育の推進
- ③地域の特色を生かした学習
- ④各団体・企業等と連携した防災安全教育



子どもの学びを支える学校づくりの重点

#### 4. 学びを支える

- ①個に応じた学びの保障 (特別支援・登校サポート)
- ②教育相談の充実
- ③安全・安心な学習環境整備
- ④関係機関・SC・SSWとの連携

#### 5. 学校教育力の向上

- ①コミュニティスクール運営協議会による学校運営の充実
- ②働きやすい職場環境づくり  
(勤務時間縮減・校務DX・コンプライアンス研修)
- ③校内研修の充実による確かな教育力
- ④開かれた学校づくり
- ⑤地域・家庭との連携・協働



# 令和8年度 羽津小学校 学校づくりビジョン具体的方策

## 重点1

### 確かな学力の定着

- ① 基礎・基本の定着
  - ・各教科で「今日のためて」を明確にし、子どもが学習の見通しをもって取り組める授業を行う。
  - ・板書や提示資料を整理し、子どもが理解しやすい授業構成を徹底する。
  - ・毎時間の「できた・わかった」を振り返る時間を設け、学習内容の定着を図る。
- ② 対話的・協働的な学び
  - ・ペア・グループでの話し合い活動を計画的に取り入れ、自分の考えを言葉にする機会を増やす。
  - ・互いの意見を認め合い、考えを広げたり深めたりする発問を工夫する。
  - ・協働的な学びが成立するよう、机の配置や活動ルールを学級で共有する。
- ③ 表現力を高める場の設定
  - ・説明・意見・振り返りなど、多様な表現活動を授業内に組み込む。
  - ・作品発表会、学年集会、掲示物など、子どもが自分の思いや考えを表現できる場を定期的に設ける。
- ④ ICTを活用した個別最適な学び
  - ・タブレットを活用し、基礎学習の反復や個別課題に取り組む時間を確保する。
  - ・調べ学習や資料整理にICTを活用し、情報活用能力を育成する。
  - ・教員はICT活用研修を継続し、授業改善に生かす。

## 重点2

### 心と体の健全な育成

- ① 人権・同和教育の充実
  - ・学級活動や道徳で「自分も相手も大切に」姿勢を育てる授業を行う。
  - ・互いの違いを認め合う活動（交流活動・学級会など）を計画的に実施する。
- ② 豊かな心と自尊感情の育成
  - ・朝読書や読み聞かせを継続し、読書習慣を育てる。
  - ・子どもの良さを見つけて伝える「ほめ言葉のシャワー」を職員で共有する。
- ③ 健康づくり・食育
  - ・生活リズムや食習慣について、保健指導や給食指導で継続的に発信する。
  - ・体調不良の早期発見のため、健康観察を丁寧に行う。
- ④ 運動好きの子どもを育てる
  - ・体育の授業で「できた」「もっとやりたい」を実感できる活動を工夫する。
  - ・休み時間の運動遊びを推進し、運動量の確保を図る。

## 重点3

### 未来を創造する力の育成

- ① 集団活動でのやり遂げる経験
  - ・運動会・兄弟学年活動・委員会活動などで、役割をもって取り組む経験を保障する。
  - ・目標設定と振り返りを行い、達成感を味わえるよう支援する。
- ② キャリア教育の推進
  - ・フューチャーリンクを活用し、学期ごとに「自分の成長」を振り返る時間を設ける。
- ③ 地域の特色を生かした学習
  - ・地域の自然・文化・産業を題材にした学習を計画する。
  - ・地域行事や施設見学を通して、地域への愛着を育てる。
- ④ 防災・安全教育
  - ・地域の防災士や消防署と連携し、体験活動を行う。
  - ・ゲストティーチャーを招き、命を守る学びを深める。

## 重点4

### 学びを支える

- ① 個に応じた学びの保障
  - ・特別支援委員会・登校サポート委員会で支援方針を共有し、全職員で支援にあたる。
  - ・個別的教育支援計画・指導計画を活用し、支援の一貫性を確保する。
- ② 教育相談の充実
  - ・情報交換を行い、気になる児童への早期対応を組織的に行う。
  - ・SC・SSWと連携し、家庭とのつながりを強める。
- ③ 安全・安心な学習環境
  - ・校内の危険箇所を定期的に点検し、改善を迅速に行う。
  - ・教室環境を整え、落ち着いて学べる空間づくりを進める。
- ④ 関係機関との連携
  - ・福祉・医療・行政機関と情報共有し、必要な支援につなげる。
  - ・必要な場合はケース会議を開催し、支援の方向性を確認する。

## 重点5

### 学校教育力の向上

- ① コミュニティスクールの充実
  - ・運営協議会で学校の課題と成果を共有し、地域とともに学校づくりを進める。
  - ・地域ボランティアの参画を広げ、学校活動を支える体制を整える。
- ② 働きやすい職場環境づくり
  - ・校務分掌の見直しやICT活用により、業務の効率化を図る。
  - ・職員同士が支え合う風土をつくり、相談しやすい職場環境を整える。
- ③ 校内研修の充実
  - ・授業研究を軸に、自己調整学習を進める研修を行う。
  - ・中学校区の学びの一体化による連携を実施し、保幼小中の学びの連続性を高める。
- ④ 開かれた学校づくり
  - ・学校だよりやホームページで教育活動を積極的に発信する。
  - ・参観日や公開授業を工夫し、保護者が参加しやすい環境を整える。
- ⑤ 地域・家庭との連携
  - ・保護者会や学年通信で、家庭と学校が同じ方向を向いて子どもを育てられるよう情報を共有する。
  - ・地域行事への参加や地域人材の活用を進め、地域とともに育つ学校を目指す。